**公益財団法人日本社会福祉弘済会助成事業**

**『盲ろう者対象パソコン機器等講習』の報告**

当センターでは盲ろう者に対してパソコンなどの機器の講習を行っています。「盲ろうでもパソコンが使えるの？」と思われる方も多いと思いますが、盲ろう者それぞれの見え方、聞こえ方に合わせた機器やソフトを使うことで可能になります。

この講習のねらいは、盲ろう者が一人でいる時でも、家族・友人などと連絡を取り合ったり、自分で情報を集めれるようにすること。また、いつ起こるかわからない震災に備えて、災害時に助けを求めたり、被災の状況を把握できるようにすることで、生き延びてほしいという願いもあります。

昨年度は、公益財団法人日本社会福祉弘済会の助成により、4名の盲ろう者が10カ月間受講されました。受講者の中には、過去見えていた時にパソコンを活用されていましたが、重度視覚障害となり、活用を諦めてしまっていた人もいました。しかし、当講習で、目と耳を使う通常のパソコンではなく、点字で情報を送受信が可能な機械（点字ディスプレイ）を学び、メールやインターネットが再び使えるようになりました。過去できていたことを、取り戻すことができたのです。

他の受講者も障害が進行中であったり、高齢の方であったり、それぞれに独自の不安を持っていました。しかし、障害に合わせた機器やソフトがあることと、マンツーマンでコミュニケーション環境を整えることにより不安は消え、積極的に受講していただけました。すべての受講者が自分で情報を集め、自分で他者と連絡をとることに自信を持っていただけました。

全く見えなく聞こえない人、少し見えて少し聞こえる人もいて、盲ろう者の状態は千差万別です。1人ひとりの状態、想いに寄り添い、安心していただける講習を続ければと思います。